

成人向け  
COMICS

*tifa lockhart hardcore story,  
fuck... make love...  
without sex  
her story is impossible  
because "she cannot help it"...*

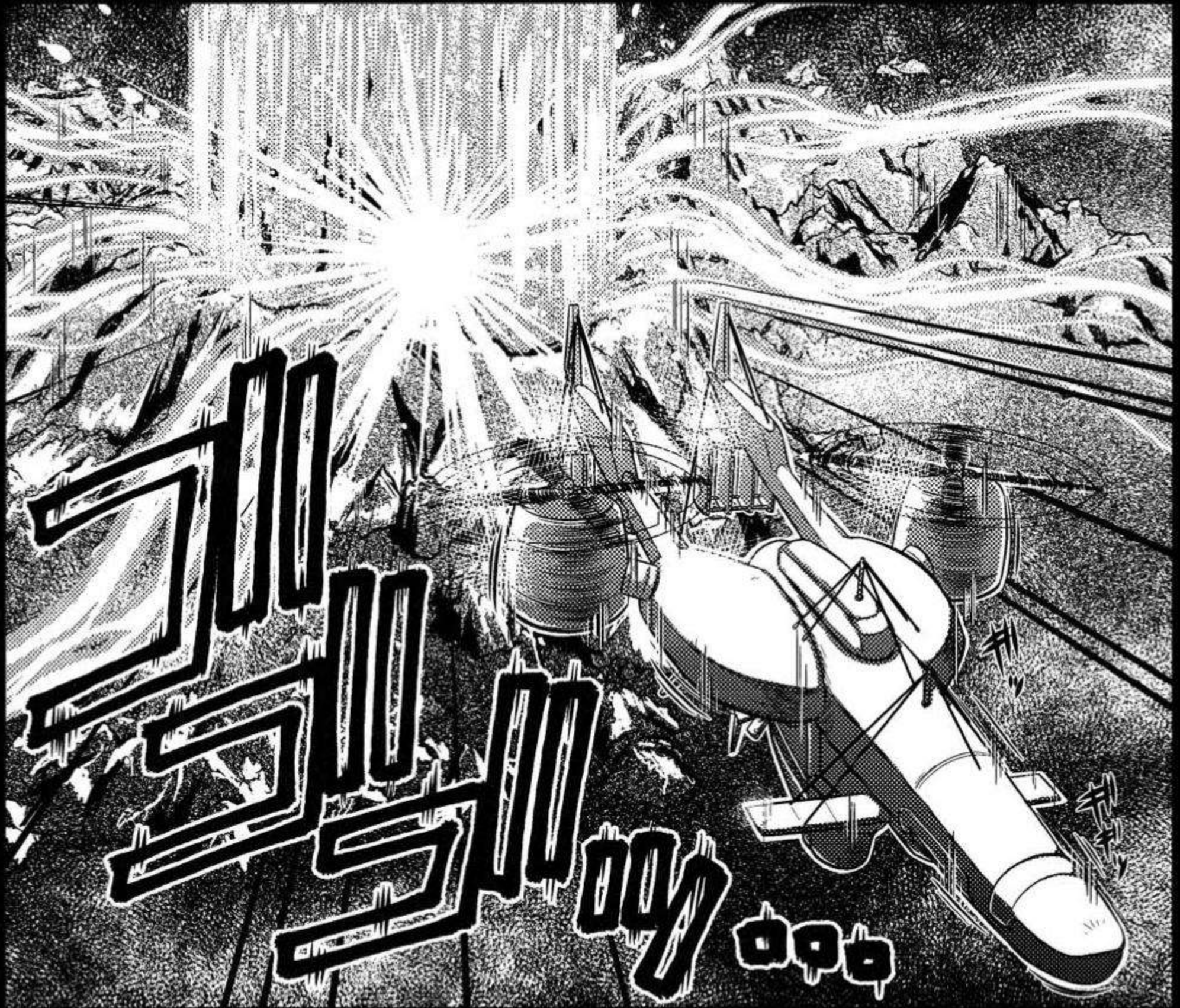
# Sleeping Beauty

Story of FF VII for ADULT.  
Written by Shidaka Akikuni.



# Sleeping Beauty

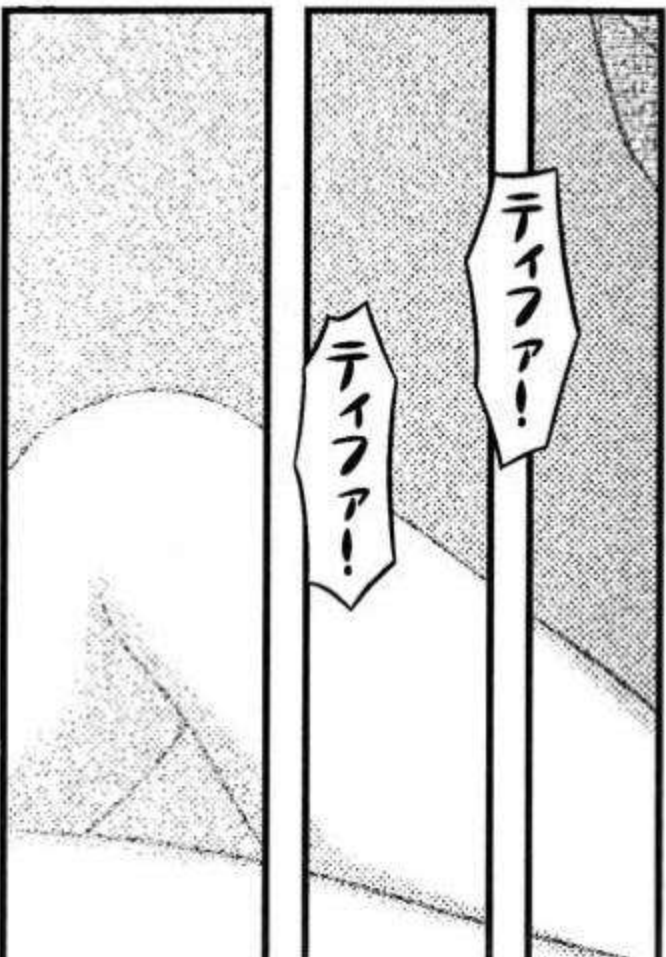
"SHE CAN'T HELP IT. -Tifa Lockhart #5"



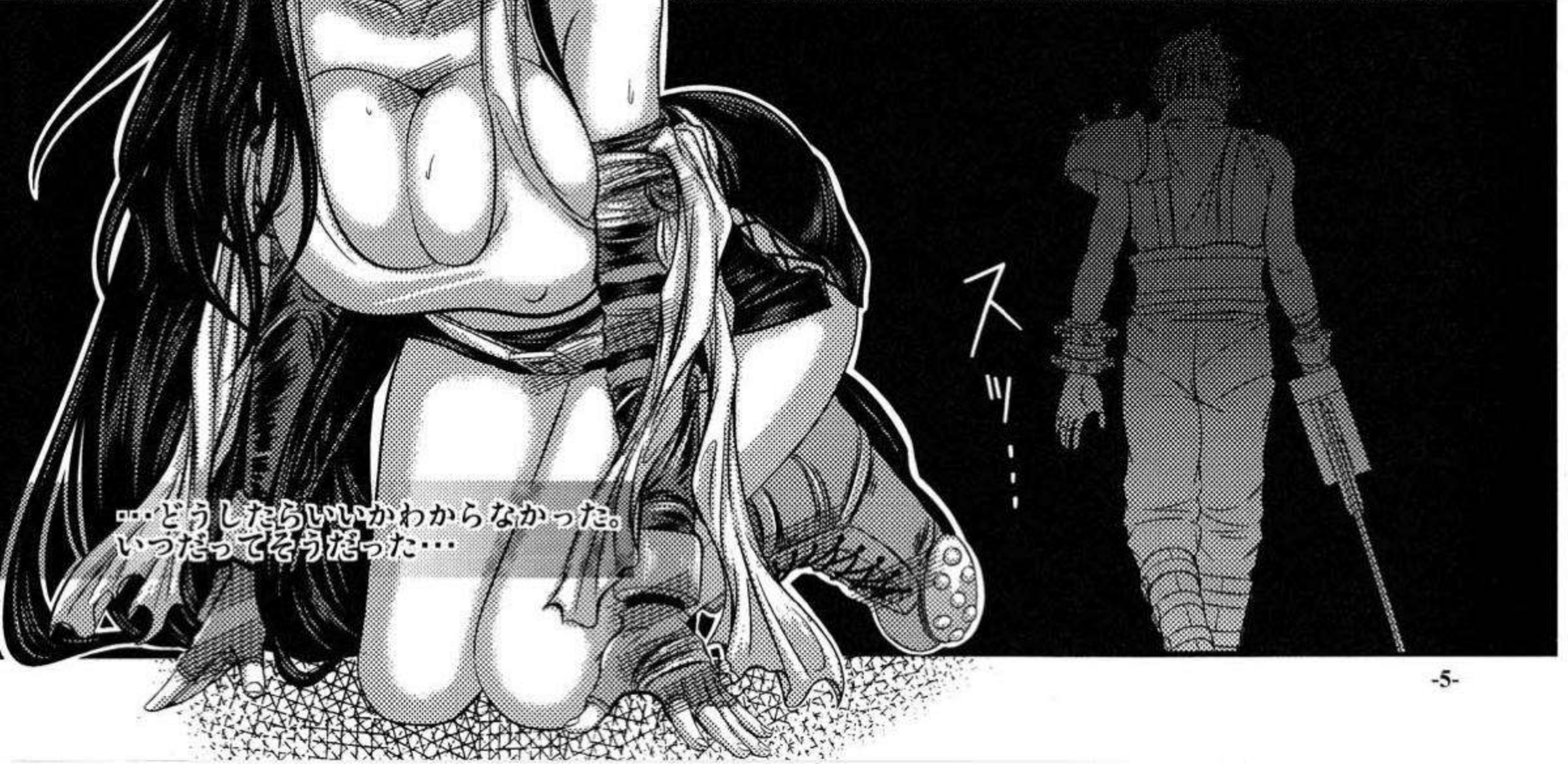
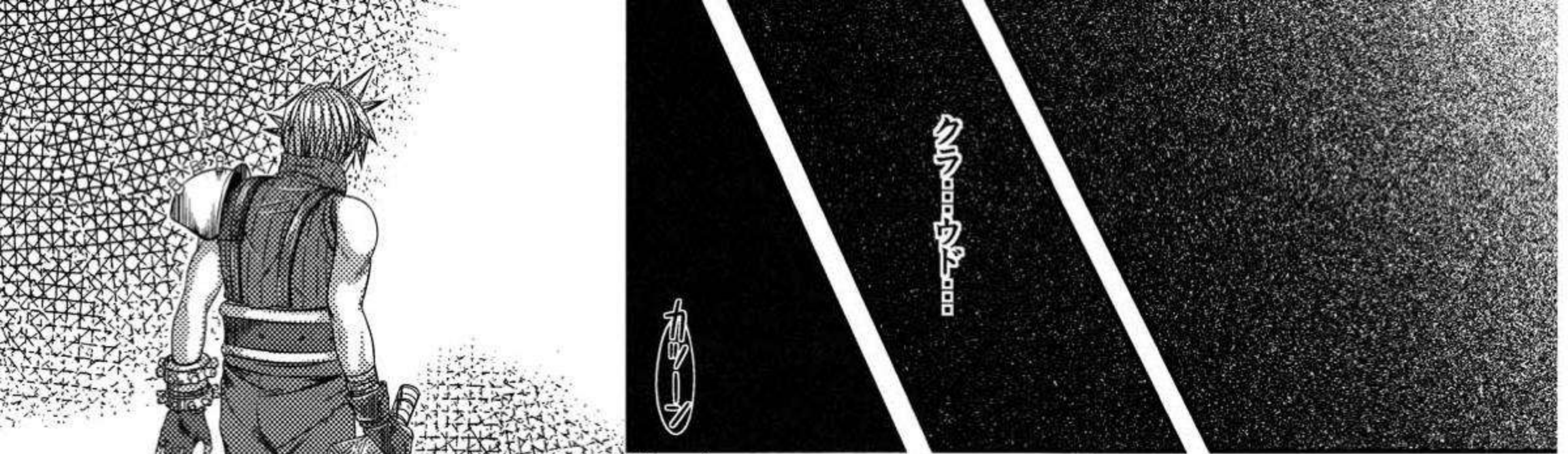
崩れゆく  
北の大空洞から  
私達は脱出した

…クラウドを  
残して…











「ニアルヘイムを出てからのこと」

「希望どおりに  
ソルジャーになったこと」

「セフィロスの事件を  
きっかけにやめてしまったこと」



あ……あ……

ティファア……？  
ティファア！

あの……

「大丈夫ですか？」

う……あ  
……あ……

あ……？  
あ……クラウド！

「いろいろ話して  
くれたけど……」

こんなところで  
会えるなんて……  
何年ぶりかな？

5年ぶりだ



……  
……  
……  
ほんとうに  
久しぶりね

「ほんとうは7年ぶりだった」

「……ちよっと変だな。  
クラウドの話してること、少しずつ変だなと思ったの」

ううん……  
なんでも  
ないよ……

それは……いやだった



どうした？

「私はいろいろ確かめたかった」

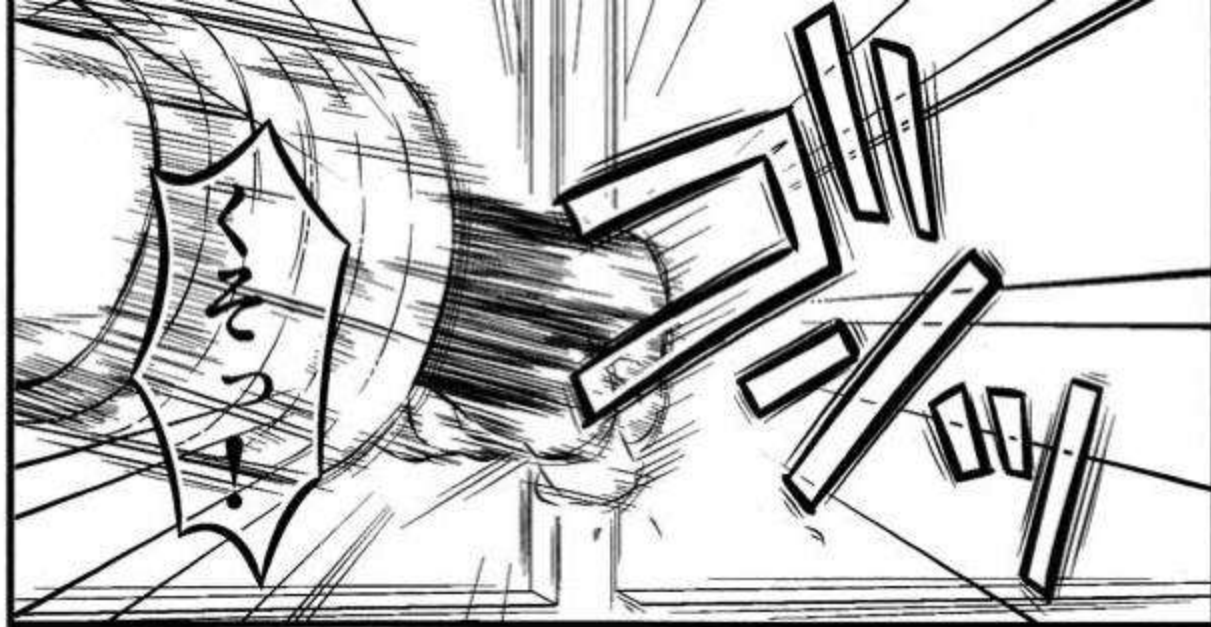
「でも、聞いたなら……クラウド  
どこか遠くへいってしまってる……」







いつまで  
デカ乳放り出して  
いい加減に起きろ！



くそっ！



命からがら  
大空洞から脱出した  
と思えば……  
今度は神羅に拘束かよ！



……  
ご丁寧に  
密閉しやがって

ティファア！  
ティファア！  
ティファア！



……



「……どうしたらいいかわからなかった」

あん？  
何でも屋……だあ？

さっき寝かせたところ……  
絵本読んであげたから  
今夜はトイレに起きない  
と……思う

それより  
マリンは？

それでね……  
話の続きなん  
だけど……

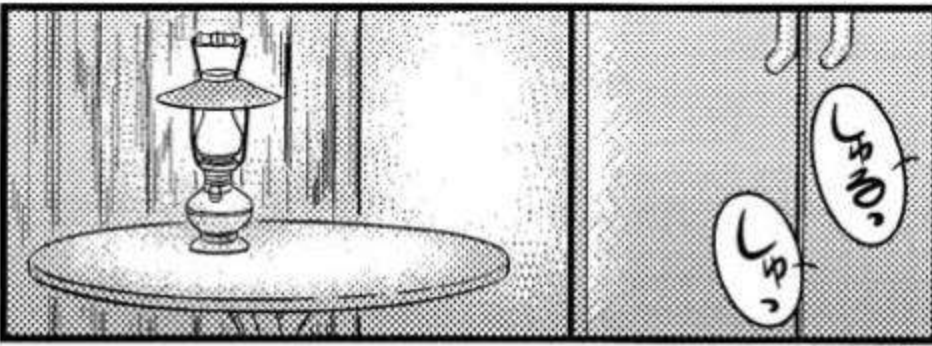


ならさっさと  
服脱いで  
こっちへこい



……

……ん



……ん

……ん



……ん



バレットに拾われてから  
私は毎晩のように  
彼に抱かれた

ニヤニヤ





焦らすなよ  
お前の乳見る  
だけで  
こうなんだぜ？

もう慣れたつもりだった  
のだ……



パレット……する前に  
さっきの話のこと  
なんだけど……



その日の晩は  
何故かひどく身体が  
強張った……

アハハ

アハハ

アハハ



元ソルジャーの  
何でも屋を  
アパランチで雇って  
もらえないかな……

そんなもん  
駄目だ

たった2年で  
たまんねえカラダに  
なったよな  
突っ立ってねえで  
早くベッドに上がれよ





ちゃんとして聞いて！  
腕は確かだよ！  
きつと役に立って  
……

駄目なもんは  
駄目だ

お金？  
それならあたしが  
お客……とれば……

元ソルジャーって  
のが胡散臭過ぎる  
……だいたい  
そんな余裕は無え

……



客をとるんだ？  
何言ってるんだ？

お前がしゃぶるのは  
このチンポだけだろ

どきん

あ  
ぷるん

ハイ

「時間が必要だって思ったの」



……  
はっ  
……



あんまり  
イライラさせんな  
ただでさえ  
焦らされてんだからな

……





そうだ...それでいい  
しっかりしゃぶれよ



「だから、クラウドに  
アバランチの仕事を紹介して  
そばにいて、よく見ていたかったの」

お前ほどの  
乳と尻なら  
好きなのだ  
稼げるだけ  
だろうさ



...だが...  
このマンコに  
ブチこむのは  
この俺だけでいい





あっ...はあっ...  
ゆ...指をそんなに...  
だめ...っ...はああ

撫でてやると  
すぐほぐれやがる...  
見た目だけじゃなく  
芯もエロい女になったな

ぬちゅ

ぬちゅ



ケツこっちむけな  
お前のトロトロの  
マンコも舐めてやる

あぁぁ!!

ぬちゅ

ちゅ

ちゅ





チツ…上の口が  
空いた途端に  
またそれか…



もっといい女にも  
もっと…いい…  
いやらしい女にも  
なるよう努力…する  
から…だから…っ



パレット…  
さっきの話…  
お願い…

あたし…  
なんでも…  
する…から…

あ

んあ



じゅるるるる  
じゅるるるる  
じゅるるるる

ひああつ…っ!!?  
やつ…やああつ…  
そんな吸つちや…  
あああつ…!!!



いあ



消毒だ

今夜のお前の  
マンコは  
処女臭えからな

どや





ひぐっ...あぁっ  
あはぁっ...あぁぁっ

あぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ



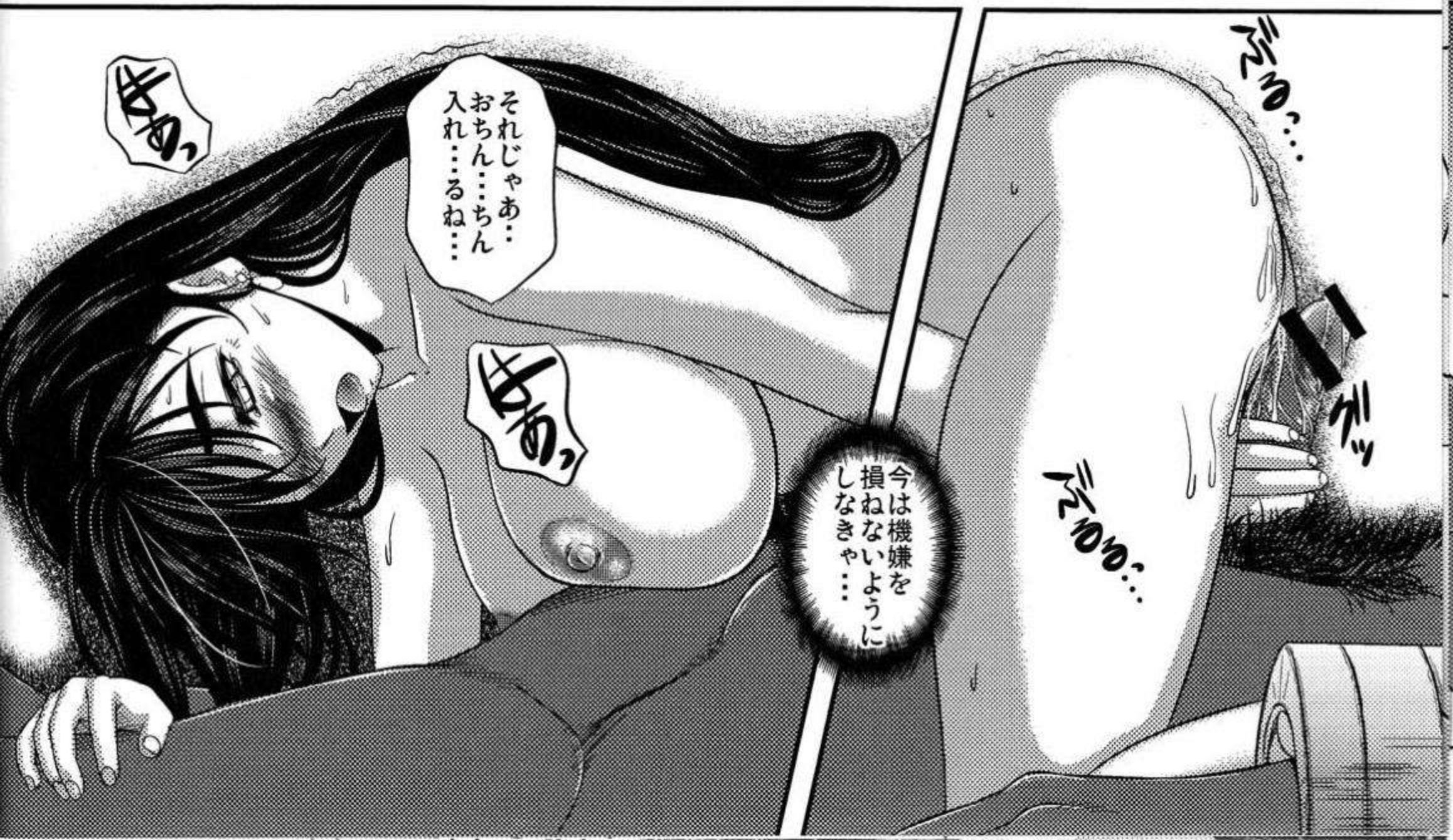
おら  
この程度で  
ノビてんなよ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ



それじゃあ...  
おちん...ちん  
入れ...るね...

今は機嫌を  
損ねないように  
しなきゃ...

あぁ

あぁ

あぁ...

あぁ...

あぁ





その分  
下の口に  
しゃぶらせろよ



待てよ

上の口は  
無駄ばかりで  
フェラがイマイチ  
だったからな



うん...  
んん...っ

あふっ...  
くうう...

いいぞ  
うめえじゃねえか  
もつとマンコのヒダを  
擦り付けろ



中に...欲しくて  
たまらなくなっ  
ちやう...



こんなこと  
してたら...





あつ...熱つ...  
...ああつ!

どいんや



男はな  
射精してる時が  
一番気持ちいいんだ  
サツサとしろ

ぼーっとすんな  
射精てるうちに  
挿入ろよ

...えっ

ぐんぐん



とりあえず  
挿入したら  
何でも屋の件を  
聞いてやる



...そんな...

精液まみれの  
おちんちん...  
こんなの入れたら  
...私...

んうっ

じゅん...

...で  
そいつは何者だ?



ああ……  
まだ……  
射精てる……

ク……クラウドは  
ニブルヘイムでの  
幼馴染みで……

んんん

んんん

うっ……わあっ  
あああ……  
んあ……  
はあああ……

ち……違っ……  
そんなんじゃ……

なんだ？  
故郷の男か？

そいつは  
知ってるのか？

お前がこうやって  
俺の上で腰振る女  
ってのを！

ふん  
どうだかな  
だが……

んんん



おらっ  
自分で動け  
しっかりと  
締め付けろよ

はあっ

どちゃ

おちんちん...  
すごく熱い...

こんなの  
強く動いたら  
すぐイっちゃう...

なに  
上品ぶって  
動いてんだ...?

そんなんで  
俺から2発目  
絞れると  
思ってたのかよ

ああ

おらっ!  
おらっ!  
見えてるか!

今お前のスケベな  
マンコに入ってるのは  
誰のチンポだ?ええ?

うああっ...はああっ  
イク...イツちゃうっ  
あっ...あああ...っ

ドッ

ドッ





だ…だめ…  
もう…もう出してっ  
終わらせてえ…っ  
あああああああ

んあっ…ああ  
はああん…っ

よおし出すぞ  
お前の膣に  
射精するぞ…っ

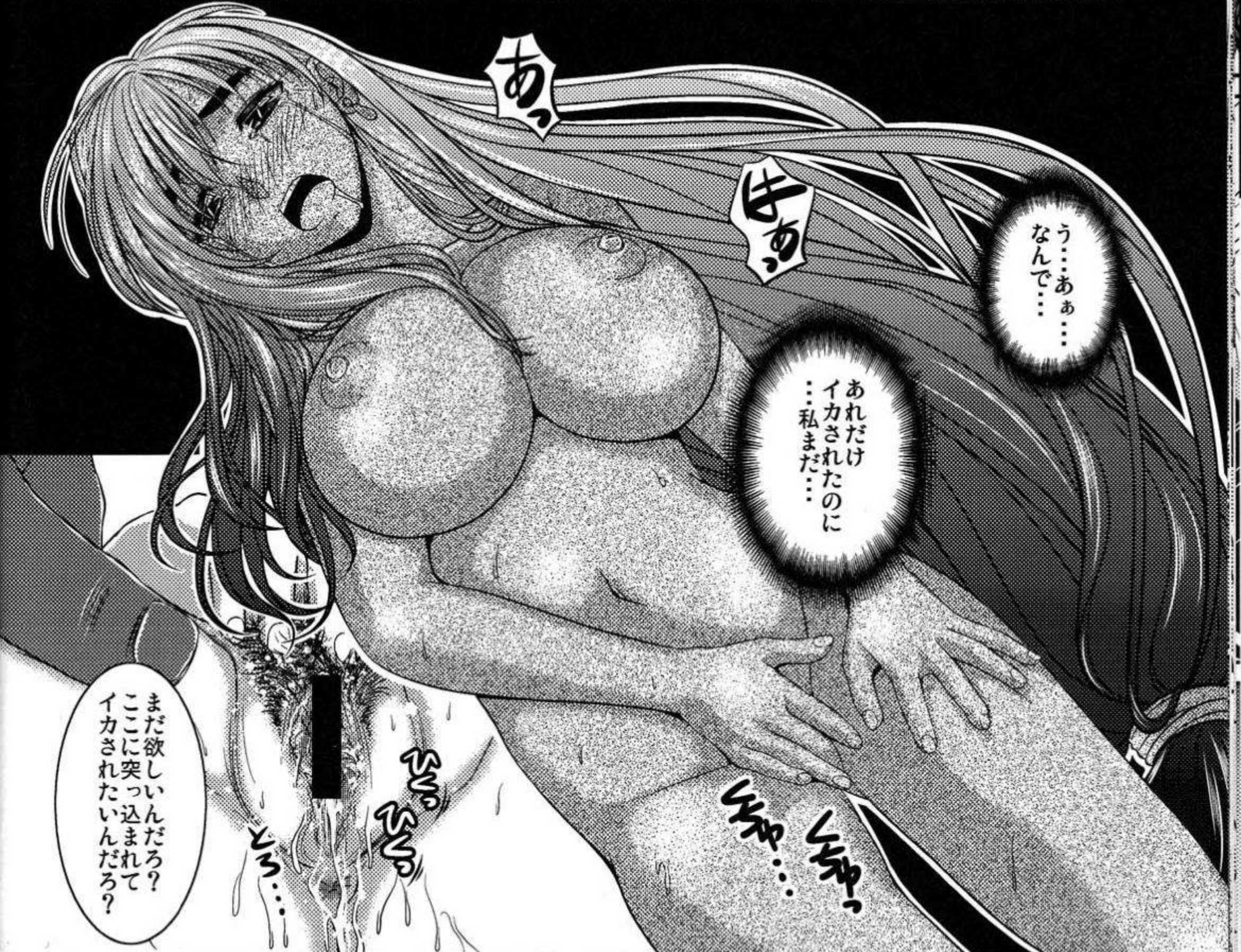
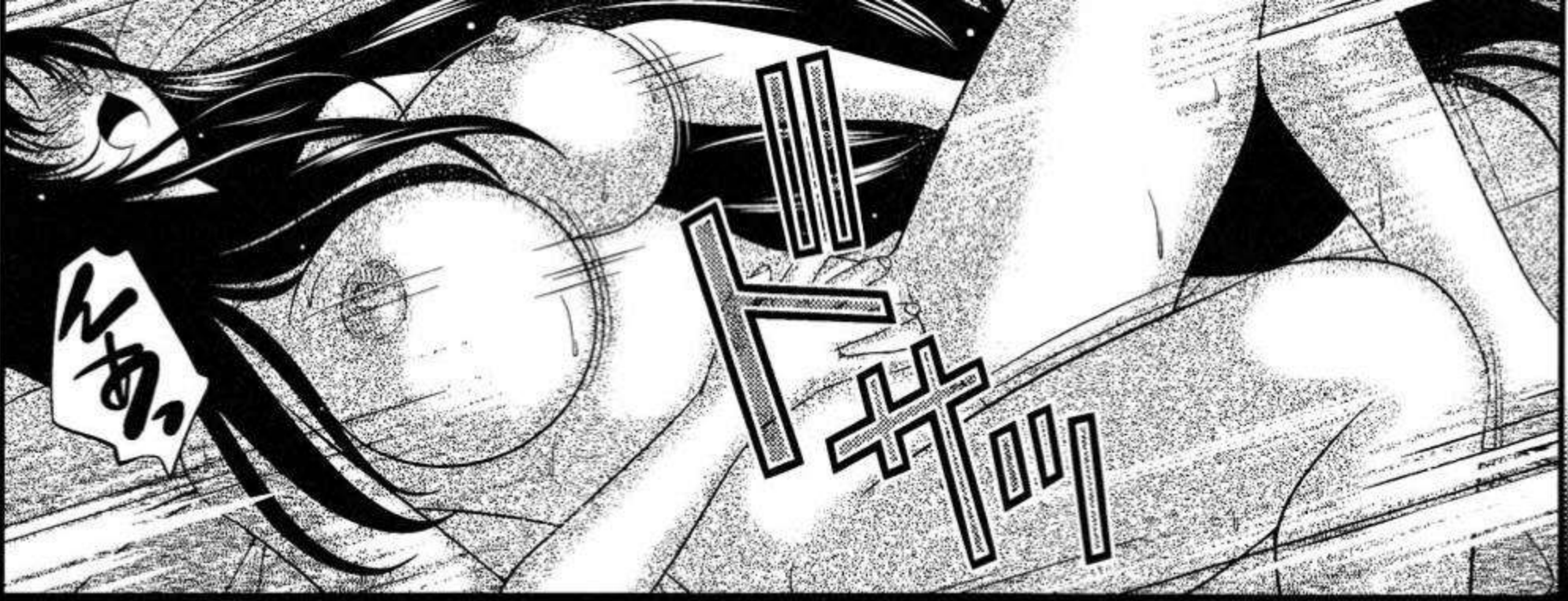
んあ  
はあ  
んあ  
はあ  
んあ  
はあ  
んあ  
はあ  
んあ  
はあ



はあ…出てる  
おちんちんから  
びゅーって…  
精液…出てる…

どうだ？  
良かったか？  
思いっきり  
イカされながら  
中に出されるのが  
好きなんだろう？





う...ああ...  
なんで...

あれだけ  
イカされたのに  
...私まだ...

まだ欲しいんだろ?  
ここに突っ込まれて  
イカされたいんだろ?

ん...  
ん...

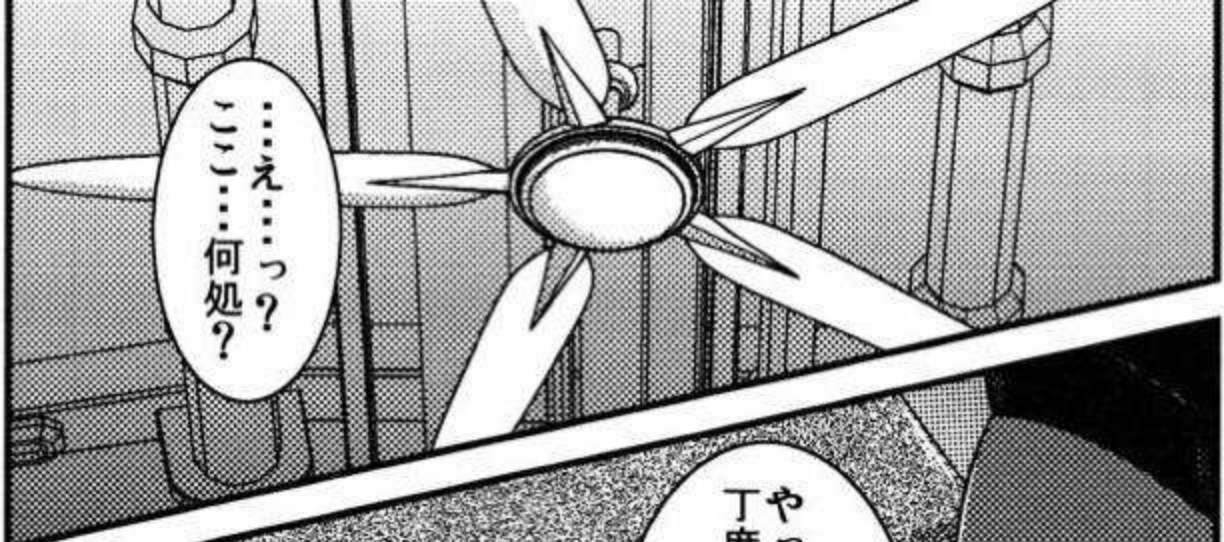
ん...  
ん...



ハいいいぜ  
メてらでも  
やる

ん...  
ん...





……え……っ？  
こ……何処？



久々にやらせろよ  
溜まってんだ



やっと目が覚めたか  
丁度いいところだ

パレット……  
な……何して……



あ……っ……！  
だ……だ……め……っ  
あ……あ……



お前も相当  
溜まってんだろ

寝てても  
いじってやりや  
こんな濡らし  
やがってよお！

アッ  
アッ

アッ  
アッ





んあぁっ  
はあぁっ  
あっ…

パレットの  
おちんちん…  
久々で…奥が…  
疼いて…っ

まや



嫌とか言いながら  
もう腰使ってやがる  
じゃねえか…ええ？

やっ…あぁっ…  
止め…ないで…



き…今日…なんで…  
こんな…すこく気持ち  
いいっ…はあぁぁっ

キツキツに締めやがって  
そんなにがつついたら  
すぐ射精ちまうぞ…



う…動いて…っ  
おちんちん…ちんで…  
もつと…奥う…  
あぁっ…あぁぁっ





お前もだろ?  
テイファ...

ふう...  
1発くらいじゃ  
おさまらねえ



どうだ?  
久々のチンポは  
気持ちいいか?





...あゝ...あゝ...  
あゝあゝあゝ...

しばらくの辛抱だ  
ずっと眠ってたからな

寝ていても  
覚めても...  
私 は こん だ...  
っ





なあ？

おなか…  
すいたね…



どうして  
聞かないんだ？

アイツのことをよ

…

…こわいから

*Sleeping Beauty*

"SHE CAN'T HELP IT. -Tifa Lockhart #5"

- END -



# THANK YOU FOR READING

最後まで読んで頂きまして、  
ありがとうゴザイマス。  
またこうやって本を出せました。

はじめての人、ご鼠屑にして頂いてる人...  
全てみなさまに大感謝☆

1日が40時間程欲しい今日この頃です。

また次の機会がありましたら  
よろしくお願ひします。

次はもう少し明るいのを描こう...うん。

発行日: 2010/08/15

発行: 12KAFFEINS  
mail: kaffeins@yahoo.co.jp

著者: しだか あきくに

印刷: マツモトコミックサービス

\*18歳未満の者の  
閲覧を禁止します。

\*あらゆる形での  
無断転載禁止。



SEE YOU NEXT BOOK.





**Presented by  
12KAFFEINS 2010.**

